

平成25年度 法華山谷川水系流域懇談会（報告会）

議事骨子

事項	法華山谷川水系流域懇談会（報告会）	出席者	15名（事務局除く）
日時	平成26年3月25日 10:00～12:00	場所	加古川総合庁舎5階会議室
内容	1. 開会 2. 議事 （1）法華山谷川水系流域懇談会規約の改定について （2）平成25年度の取り組み状況について （3）今後の進め方について 3. その他 4. 閉会		
資料	資料1 法華山谷川水系 流域懇談会 規約(案) 資料2 平成25年度法華山谷川流域の降雨・水位状況と対策について 資料3-1 平成25年度法華山谷川水系総合治水推進計画取り組み【概要】 資料3-2 平成25年度法華山谷川水系総合治水推進計画取り組み状況 資料3-3 総合治水条例に基づく「ためる」「そなえる」取り組み 資料4 法華山谷川水系総合治水推進計画の今後の進め方 資料5 法華山谷川水系総合治水推進計画を推進する体制（案） 資料6 今後の法華山谷川水系流域懇談会開催に向けたスケジュール（案） <参考資料> ・法華山谷川水系総合治水推進計画		

1. 開会

2. 議事

（1）「法華山谷川水系流域懇談会規約の改定」について

事務局より、「法華山谷川水系総合治水推進計画」（参考資料）8-3. 計画のフォローアップについて説明し、法華山谷川水系流域懇談会規約（資料1）に第2条第3項を追記する規約案について提案。委員の了承を得て、平成26年3月25日より規約を改定する。

（2）「平成25年度の取り組み状況」について

① 「平成25年度法華山谷川流域の降雨・水位状況と対策」について

事務局より、「平成25年度法華山谷川流域の降雨・水位状況と対策」（資料2）により、H25/9/4前線による大雨及びH25/9/16台風18号の降雨・水位状況及び雨水流出状況について説明。

② 法華山谷川水系での取り組みについて

事務局より、平成 25 年度法華山谷川水系総合治水推進計画の取り組み【概要】(資料 3-1) 及び「平成 25 年度法華山谷川水系総合治水推進計画取り組み状況」(資料 3-2) により、法華山谷川での取り組みについて説明。

③ 兵庫県全体の取り組みについて

事務局より、「総合治水条例に基づく取組」(資料3-3) により、兵庫県下の取組について説明。

凡 例
(出) 出席者の意見・回答
(事) 事務局の意見・回答
(議) 議長の意見・回答

■これまでの取組について委員からのご意見

(議) 地元の取り組みについて何か紹介することはないですか。

(出) 高砂市では、法華山谷川においては間の川ポンプ場、下流の中島ポンプ場建設などを行っている

(出) 水田貯留(田圃ダム)について H26に0.5ha くらいの田で効果検証を行う予定である

(出) ハザードマップの作成検討会を姫路市・加古川市合同で行った。今後ワークショップを開催していく予定である。(資料3)P13の塩市地区ハザードマップはきれいに出来ているが作成にあたって何か制限はあるか。

(事) 例えば瓦の落ちてくる可能性のある道路など詳細なことは、地元の方が情報を把握しているので、そのような知識を活かして作成していただければよい。個人情報等にかかる表示については自治会等の協議のなかで理解を得て作成している。

(出) 塩市のハザードマップを見て自分の地元でも作ろうと思った。

(出) 魚川橋下流において H25出水状況で橋桁近くまで水位が上がっている。下流は掘削予定となっているが草が茂っている所の日常的対応を検討して欲しい。

(事) 毎年除草を行っているがすぐに生えてくる状況である。日頃の対策を出来る限り行っていく。

(出) 魚川橋は予備設計となっているが、現状は欄干が低く事故も起こっているので安全対策を検討して欲しい。

(事) 魚川橋付近は河床を下げる計画であり、橋梁についても架替か補強か検討しているところであるが地盤も良さそうなので補強の方向で考えている。事故も把握しているの

で今後道路管理者である高砂市とも協議しながら検討していく。

(出) (資料3)「4-2下水道対策⑤H26阿弥陀町生石、山ノ端地区の雨水計画見直し業務」について今後の対策を知りたい。

(事) 現況水路が足りているかどうか調査し、特に法華山谷川に流入する3か所のうち1か所は常設ポンプ、もう1か所はリースポンプにて対応しているが、残り1箇所についても必要性等を見極めるための調査を今後行う予定である。

(出) 菖蒲池から下流の川幅を広げる予定であったがどうなったか。

(事) 法華山谷川本川の護岸の測量及び設計は H25年度で完了した。法華山谷橋から上流は川幅が狭いので拡幅する予定であり、平成26年度から用地測量・買収に入りたいと考えている。

(出) ため池協議会は全てのため池管理者が参加しているわけではない。協議会参加者以外にも理解してもらうよう認識を広げていかないといけない。

(事) ため池の事前放流について色々ところでアピールしているが、ため池協議会の参加者だけに協力をお願いしているわけではない。土地改良区や市町を通じて色々なツールで今後協議会参加以外にも協力をお願いしていく。

(出) ため池ハザードマップは現状では警戒ため池しか HP に載ってない。その他のため池が決壊したらどうなるのか、出来れば作成して欲しい。

(事) 警戒ため池に位置付けたため池のみ被害想定範囲を HP に載せている。それ以外にも大きなため池はあるが、すべてを載せるのは難しい。ただ、個別に示すことはできるので後ほど相談させて頂きたい。

(出) この事業は床上浸水対策だけを言っているが、床下浸水解消にはならないのか。

(事) H25～H29年度の5箇年で床上浸水対策特別緊急事業により、まずは床上浸水解消を目指す。この事業が終わった後も引き続き河川対策を行っていく。

(出) ため池事前放流や水門の開閉は理論としては理解できるが、田圃の時期は水を抜くことは難しい。また、雨の時期に開閉を行うことは非常に危険である。

(事) 水田に水が必要な時には無理に流して頂くつもりはなく、営農に支障のないようお願いである。

(出) 下流からは上流が放流すると浸かるから開けないで欲しいなどの要望がある。

(事) これまでの流域懇談会の中でも同様のお話があった。閉めれば上流が、開ければ下

流が被害を受けるという難しい状況で、県に操作をして欲しいなどの意見もあった。大池・菖蒲池はこれから設計に入っていく。下流に影響のない操作なども検討していくので、その時にまたご協力をお願いしたい。

(3) 「今後の進め方」について

- ① 「法華山谷川水系総合治水推進計画の今後の進め方」について
事務局より、資料4について説明。
- ② 「法華山谷川水系総合治水推進計画を推進する体制(案)」について
事務局より、資料5について説明。
- ③ 「今後の法華山谷川水系流域懇談会開催に向けたスケジュール(案)」について
事務局より、資料6について説明。

凡 例	
(出)	出席者の意見・回答
(事)	事務局の意見・回答
(議)	議長の意見・回答

■今後の進め方について委員からのご意見

(出) ゲートの開閉は大変な作業。予算の事情もあると思うが、ある程度の水位になったらゲートが上がるようゲートの自動化は出来ないか。

(事) 河川内の井堰は可動堰に改良していく予定である。ため池については、今後相談させて頂く。

(議) 体制について、県市調整会議に学校やため池管理者は入らないのか。

(事) 今後の検討のなかで整備する対象施設が決まってくれば、その施設の管理者との調整も必要となる。

3. その他

次回は来年2月くらいに開催予定である。

4. 閉会

平成 25 年度 法華山谷川水系 流域懇談会 委員出席者名簿

分野		所属	氏名	出欠
学識	河川	神戸大学大学院工学研究科准教授	みやもと ひとし 宮本 仁志	出
	環境	播磨ウェットランドリサーチ代表	まつもと しゅうじ 松本 修二	欠
	歴史文化	高砂市教育委員会	しみず かずふみ 清水 一文	欠
地域 住民	加古川市	東神吉町町内会連合会長	ふじ わら よしあき 藤原 義昭	出
		西神吉町町内会連合会長	まつ うら よしき 松浦 芳樹	出
		米田町町内会連合会長	おお ふち としひこ 大淵 俊彦	欠
		志方町中地区町内会連合会長	かげやま すずむ 陰山 進	出
		志方町東地区町内会連合会長	くま がい ちあき 熊谷 千昭	出
		志方町西地区町内会連合会長	はせがわ としゆき 長谷川 敏之	出
	高砂市	荒井地区連合自治会長	あ ぼし としあき 網干 年明	出
		伊保地区連合自治会長	はま の かずき 濱野 和樹	出
		米田地区連合自治会長	まえ だ えいいち 前田 栄一	出
		阿弥陀地区連合自治会長	は せ がわ こうぞう 長谷川 浩三	出
農地・水利 関係者	加古川市	加古川市ため池協議会連絡会 (富木地区環境保全協議会会長)	とみ き おさむ 富木 攻	出
	高砂市	塩市水利組合長	やま した やすお 山下 泰男	出
行政	加古川市	下水道部長	うめ たに せいいち 梅谷 誠一	出
	高砂市	まちづくり部長	かね こ ひろゆき 金子 博之	代理 出席
	兵庫県	加古川土木事務所長	みやもと しんすけ 宮本 真介	出

(敬称略、分野ごとに記載)

計 15名出席 (欠席3名)